



**1 今日、教室まで何で来ましたか。**

多くの参加者が同様の移動手段の場合は、「仕事（や学校）に行くとき、何で行きますか」というテーマで話してもいいです。

**2 あなたの好きな乗り物は何ですか。また、乗ったことがある乗り物は何ですか。**

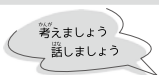
ここでは、いろいろな乗り物について意見交換したいです。イラストのほかにも、参加者の出身地域の主要な乗り物や、教室がある地域の主要な乗り物などを話してもいいです。参加者の中で、工事車両の操縦など乗り物を使って仕事をしている人がいれば、そのことについて話してもいいです。路面電車やリキシャなどは、必要に応じて映像や画像を見ながら活動するといいと思います。「リキシャ インド」「リキシャ バングラデシュ」などと検索するといくつかの映像が出てきます。



（検索キーワードの例）「リキシャ インド」  
「リキシャ バングラデシュ」

**3 みなさんが今まで行った中でいちばんオススメの場所はどこですか。**

可能であれば、写真を見せながら参加者それぞれのオススメの場所について話したいです。どうしてオススメなのか、理由を話し合ってもいいです。「オススメ」は、「みんなに知ってほしい場所（や食べ物）」など、言い換えて説明するとわかりやすいと思います。



**1 永瀬さんはどうしてリヤカーを買いましたか。**

本文の2、3行目を参考に考えます。

**2 永瀬さんはリヤカーにどのようなものを載せていると思いますか。**

サポートサイトの参考資料 (<https://www.tv-osaka.co.jp/sp/rearcarman2019/>) (テレビ大阪「テレビ大阪報道特別番組 リヤカーマン、近くて遠い国へゆく～冒険家・永瀬忠志 大阪ーロシア 2000kmの旅～」) を見る前に、まず考えてみましょう。全体で考えてもいいですし、小グループに分かれてもいいです。考えたあと、資料を確認します。「あなたなら、どのようなものを持っていくか」を考えてもいいですね。楽しい雰囲気を進めてください。

**3 あなたは、どのような旅がしたいですか。**

移動手段について話してもいいです。旅の目標や目的地について話してもいいです。仕事や学校のことを考えずに、自由に話すといろいろなアイデアが出るかもしれません。

この活動では、参加者によっていろいろな意見が出ると思います。お互いの意見を聴き合うことを大切に進めるようにしてください。以下のポイントを参考に進めてください。

- 模造紙とペンを準備しましょう。ペンは地図をかく色、目的地や必要に応じてイラストをかく色など、2、3色あるといいと思います。
- 3～5人のグループ活動が望ましいです。可能であれば、出身地域やバックグラウンドが異なる参加者同士でグループをつくると、学びが深まると思います。グループ分けは教室の人数に合わせて調整してください。
- 地図はスマホなどで見たり調べたりしないでかくと、かく人やグループによって地図に違いが出て、活動の幅が広がるかもしれません。
- 地図を正確にかくことよりも、対話をしながら旅行計画を立てることがこの活動の目標です。地図をかく場合は、時間を最大5分にするなど、時間制限を設けたほうがいいです。
- 旅の費用は考慮しなくていいです。



振り返りの時間を必ずもちましょう。その日の学びを振り返ることで、自分自身、意識化できます。自分が話すだけでなく、ほかの参加者の振り返りを聴くことも大切です。

※振り返りの進め方などは、ユニット1に「まつお一口メモ」があります。あわせてご覧ください。